

インドネシアにおけるマングローブ林造成

2013年3月26日



YL Invest Co.,Ltd.
株式会社ワイエルインベスト



戦争の後 日本を救う海外の木材

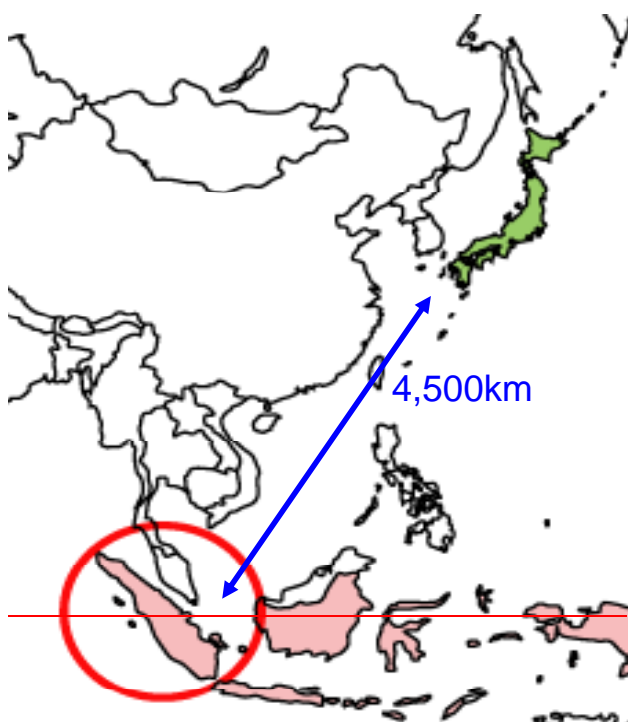


森は文明の前にあった 砂漠はその後にやってくる

シャトーブリアンの言葉より



なぜインドネシアで植林するのか？




インドネシア共和国

- ・面積は日本の約5倍
- ・人口は約2億3千万人
- ・1万7千の島々

- ・昔、輸入木材会社をしていた
- ・森へ恩返し
- ・地理に明るい
- ・広大な干潟
- ・赤道直下のため台風が来ない
- ・親日国家
- ・人件費が安い
- ・世界の25%のマングローブがある

なぜマングローブを植林するか？



マングローブの利点

- ・生態系の維持と安定
- ・漁獲量の向上
- ・二酸化炭素吸収固定
- ・自然の防波堤
- ・海岸浸食の防止
- ・海水の浄化
- ・山火事がない



↑ 植林地に住むマングローブガニ

5

YLインベストがインドネシアで行っている マングローブ植林活動も8年目に入ります



インドネシア共和国リアウ諸島州バタム市 2013年2月撮影

皆様にも少しずつ認めて頂けるようになりました



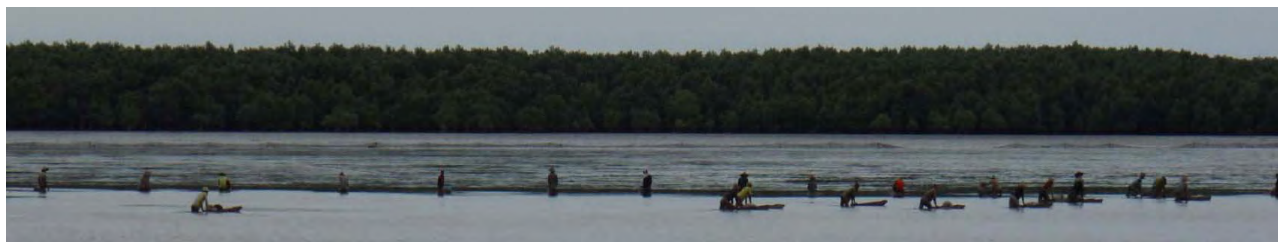
バタム市での植林ツアー 2011年4月撮影

スマトラ島の広大な干潟



マングローブ植林活動

南スマトラ州バニユアシン県の植林作業の様子



植林地周辺の村人の暮らし

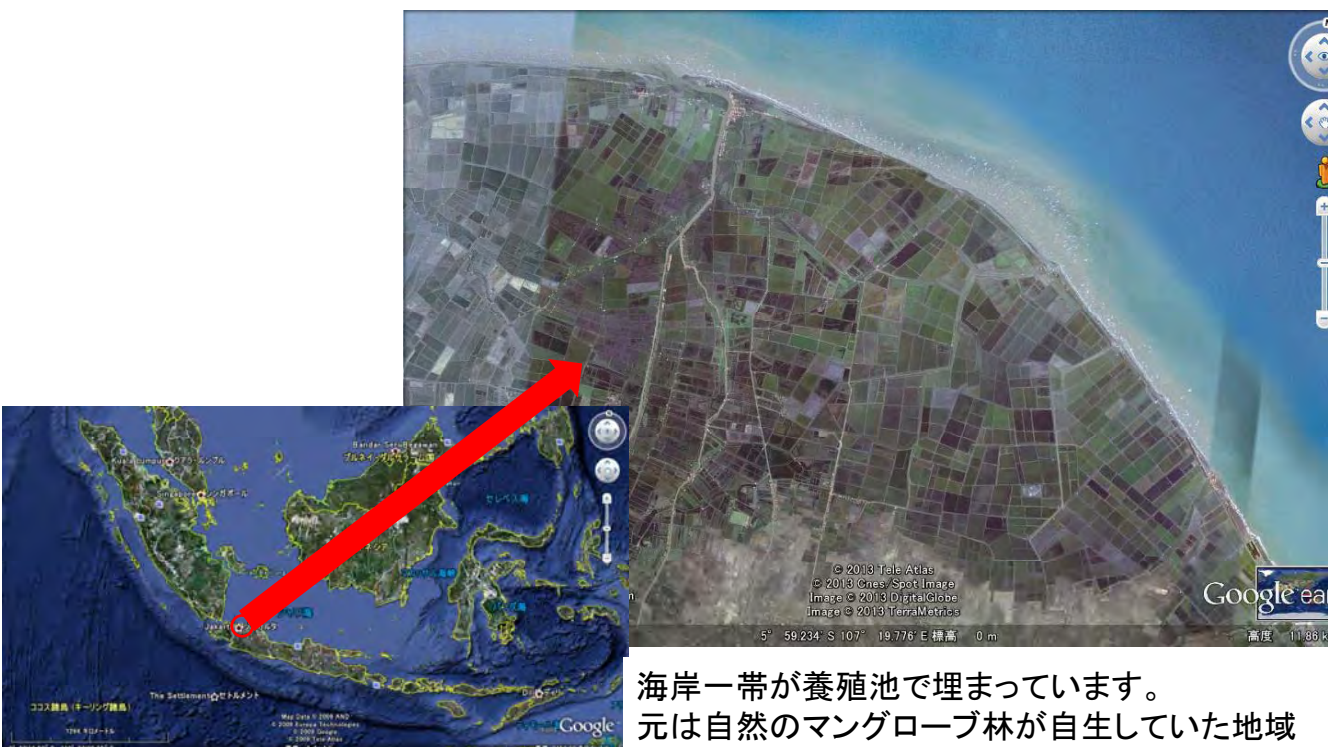


養殖場跡地の緑化活動



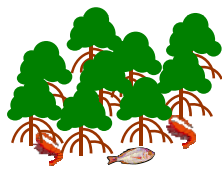
11

ジャワ島北部約1,000kmに及ぶ海岸地帯が、
マングローブ林から養殖場に転換されています



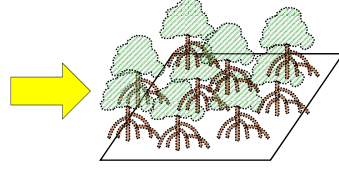
12

養殖場のためのマングローブ林伐採は急速に進み、 それに伴う環境破壊は深刻な問題となっています



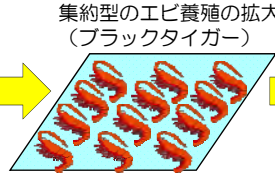
マングローブ天然林

海岸域はマングローブ林が
自生し、海洋生物の住処。



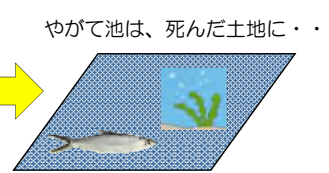
マングローブの伐採

マングローブ林を皆伐し、
養殖場の造成。



集約型養殖の開始

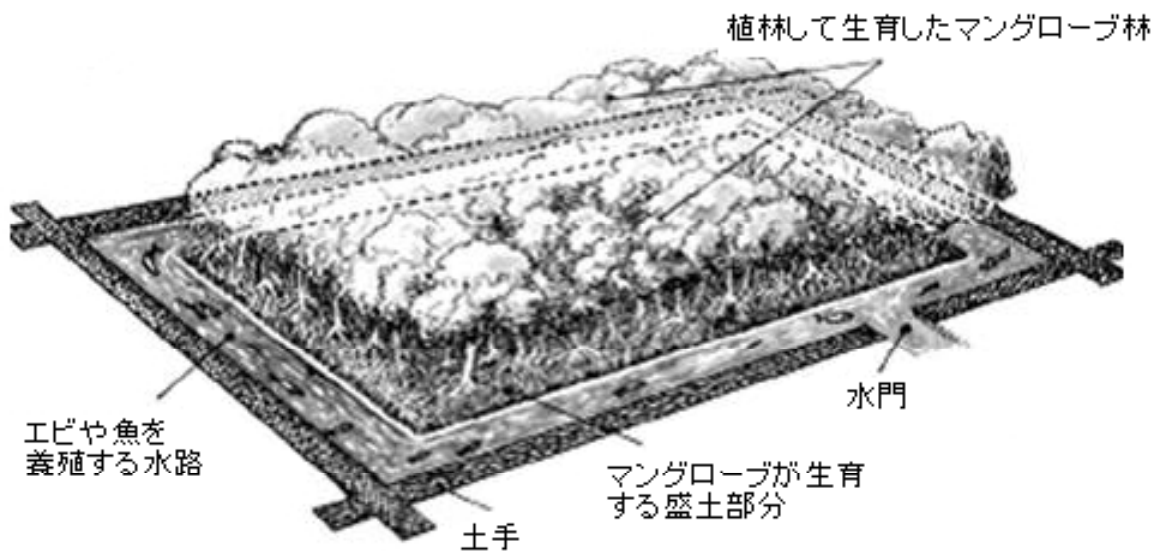
飼料や抗生物質/水質調整剤
の大量投入。
管理の資金的負担が大きい。
飼料や薬剤が汚泥となり底に堆積。



その結果・・・

水質や土壌などの環境汚染
エビ養殖ができなくなった
安価な魚や海藻の養殖に転換
地元住民の貧困化が問題に

地元住民の生活基盤の安定と マングローブ林の再生を両立させる活動を行っています



森林と水産養殖業を両立させるシルボフィシャリー

YLグループの活動

今、世界の温室効果ガス排出量の約2割が、
森林減少・劣化に由来する排出であると言われてています。

現在日本国政府は、二国間または多国間で協定を結び、
温室効果ガスを削減する事業の推進を行っております。

その調査事業を、H23年度、H24年度連続で、受託させて頂いております。

- 平成23年度地球温暖化問題等対策調査
(非エネルギー起源温室効果ガス関連地球温暖化対策技術普及等推進事業)
- 平成24年度非エネルギー起源温暖化対策海外貢献事業
(非エネルギー起源 温室効果ガス関連地球温暖化対策技術普及等推進事業)

15

経済産業省から委託され、
スマトラ島でREDDプラス事業調査を行っています



16

私たちと一緒にマングローブ植林をしている
この子供たちの綺麗な目を、忘れないようにしたい、
この子供たちのためにも緑の地球を守りたい・・・
それが私たちの思いです。

